

MINAMI OGIKUBO LIBRARY



南荻窪図書館だより

杉並区南荻窪 1-10-2

03-3335-7377

2019年3月号 No. 304

新着図書の本棚 : 2
環境・ミニ展示 : 6
南荻窪通信 : 7



今月の人気本ランキング第1位は、
直木賞受賞の話題作！

→P. 3へ



答えはp.7へ

【特集】 平成30年の歩み

→P. 4~5

新着図書の本棚



南荻窪図書館に新しく到着した図書をご紹介します。新着図書は、毎週火曜日と金曜日の夕方に、新刊コーナーに並びます。

到着時に既に予約の入っている新刊は、コーナーに並びません。ご了承のうえ、ご利用ください。

元号って何だ？

【著】藤井青銅

【刊】小学館

【ISBN】9784098253395

元号に使われている漢字ベスト5は？期間の長い元号は？元号に関する素朴な疑問に答える入門書。全部で247ある元号をいろいろなランキングで解説。元号由来のネーミングや、全国の改元ゆかりの地なども紹介する。

210

フ

元号

西洋の自死

【著】ダグラス・マレー

【刊】東洋経済新報社

【ISBN】9784492444504

シリア難民・移民問題をめぐり当事者、賛成派、反対派などを徹底取材した英国の新進気鋭ジャーナリストが欧州と西洋文明の終焉を予測。移民の受け入れによって欧州の社会や文化が壊死しつつある姿を克明に描く。

334

マ

移民・植民

たつきーママの混ぜて入れるだけのかんたん可愛いスイーツの本

【著】奥田和美

【刊】扶桑社

【ISBN】9784594613587

コンテナ容器があれば、特別な型や材料がなくても作れるお菓子ばかり。チョコレートやクッキー、ケーキまで、ピギナーやギフトで配りたい人にぴったりの、早かつい手作りスイーツを75品紹介。

596

6オ

菓子

古代オリエントの神々

【著】小林登志子

【刊】中央公論新社

【ISBN】9784121025234

ティグリス・ユーフラテス河の間に広がる平野、ナイルの恵みに育まれたエジプトで、人類は古代文明と数多くの神々をつくり出した。様々な文明が興り、消えゆくなか、人がいかに神々とともに生きたかを描く。

A

オリエント

絶滅できない動物たち

【著】M.R. オコナー

【刊】ダイヤモンド社

【ISBN】9784478067314

飼育下繁殖から、iPS細胞、ゲノム編集まで、絶滅に挑むテクノロジーと自然保護の現場を徹底取材。人が介入すればするほど、「自然」から遠ざかっていく自然保護と種の再生テクノロジーの矛盾を暴く。

480

オ

動物保護

天才を殺す凡人

【著】北野唯我

【刊】日本経済新聞出版社

【ISBN】9784532322533

才能を「ビジネスの世界に必要な3つ」に定義し、その才能を活かす方法を段階的に解き明かす。ブログ『凡人が、天才を殺すことがある理由。』を物語形式にして書籍化。後ろから読める「ブログ」「感想」付き。

159

キ

人生訓

人気の予約本

ここ1ヶ月、杉並区内図書館であらたに予約が増えた本です。今どんな本が注目されているのでしょうか？



2019年1月16日～2019年2月15日

順位	書名	著者名	出版社	予約数	ジャンル
1	宝島	真藤順文	講談社	397	小説(日本)
2	FACTFULNESS	ハンス・ロスリング	日経BP社	222	情報利用法
3	一切なりゆき	樹木希林	文藝春秋	174	芸能
4	妻のトリセツ	黒川伊保子	講談社	171	女性心理
5	本と鍵の季節	米澤穂信	集英社	159	小説(日本)
6	昨日がなければ明日もない	宮部みゆき	文藝春秋	145	小説(日本)
7	怪物の木こり	倉井盾介	宝島社	141	小説(日本)
8	愛なき世界	三浦しをん	中央公論新社	138	小説(日本)
9	すぐ死ぬんだから	内館牧子	講談社	135	小説(日本)
10	82年生まれ、キム・ジョン	チョナムジュ	筑摩書房	131	小説(海外)
11	ある男	平野啓一郎	文藝春秋	130	小説(日本)
12	歌舞伎町ゲノム	菅田哲也	中央公論新社	126	小説(日本)
12	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ	文藝春秋	126	小説(日本)
12	熱帯	森見登美彦	文藝春秋	126	小説(日本)
15	もっと言ってはいけない	橋玲	新潮社	121	社会論

★ ★ ★ 人気の本からピックアップ ★ ★ ★

第1位 『宝島』 著/真藤順文

英雄を失った島に、新たな魂が立ち上がる。固い絆で結ばれた幼馴染み、グスク、レイ、ヤマコ。彼らは警官になり、教師になり、テロリストになり、同じ夢に向かった——。第160回直木賞受賞作。

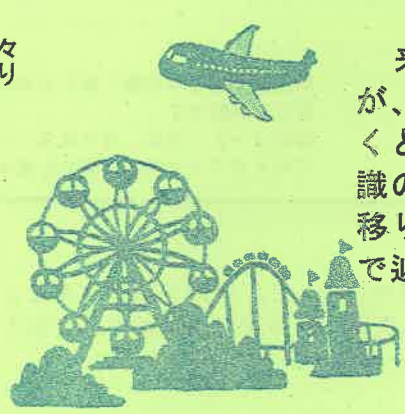
著者紹介：2008年に『地図男』でダ・ヴィンチ文学賞を受賞してデビュー。同年度、同時期に書いた他作品で続けざまに4つの賞を受賞。ジャンルを問わないストーリーテリングのうまさ、独特のユーモア溢れる文体が特徴。

玄関展示

南荻窪図書館玄関スペースのガラスケースでは毎月様々なジャンルに関する展示を行っています。展示本は借りることができますのでこの機会にぜひご覧ください。

3/5 (火) ~ 3/31 (日)

平成30年の歩み



来月4月に発表になる新たな元号が、施行される5月まで、もう間もなくとなりました。生活様式や人の意識の持ち方、数々の災害から世界の移り変わりなど、平成30年間を本で辿りたいと思います。



10代に語る平成史

【著】後藤謙次
【刊】岩波書店

【ISBN】9784005008780

平成はどんな時代だったのか。消費税の導入、沖縄の苦難、自然災害、中国の台頭と日中関係……。激動の30年を政治ジャーナリスト後藤謙次がテーマごとにわかりやすく解説する。

YAコーナー

A

平成時代

昭和の洋食平成のカフェ飯

【著】阿古真理
【刊】筑摩書房

【ISBN】9784480878625

小津安二郎「お茶漬けの味」からマンガ「きのう何食べた?」「花のズボラ飯」まで、家庭料理はどう描かれ、作られてきたのか。家族や社会の変化とともに、昭和~平成の30年を読み解く。

383

8ア

食生活

平成サラリーマン川柳傑作選

10貫目

【著】山藤章二
【刊】講談社

【ISBN】4062105314

- ・一生を賭けた会社に先立たれ
 - ・真夜中の妻の寝顔は世紀末
 - ・気分良く百円ショップでムダ遣い
- 第一生命「サラリーマン川柳コンクール」から選ばれた、ペーソスあふれる傑作選。

911

4ヤ

川柳



日本大使公邸襲撃事件

【著】ルイス・ジャンピエトリ
【刊】イースト・プレス

【ISBN】9784781600376

1996年12月、日本が遭遇した海外テロ「ペルー日本大使館公邸襲撃事件」。当時の人質でテロリストの掃討戦略のプロである著者が、戦慄の4カ月間の真実について12年間の沈黙を破り、告白する。

316

シ

テロリズム

いのちをつなぐ

【著】大木トオル
【刊】岩崎書店

【ISBN】9784265042999

動物介在療法の普及に取り組んでいる著者が、東日本大震災と福島原発事故によって飼い主と離ればなれになった犬たちを保護し、被災者を勇気づけるセラピードッグとして育成する日々を綴る。

児童書

300

オ

動物

世界を動かす100の技術

【編】日経BP社
【刊】日経BP社

【ISBN】9784822255473

テクノロジーの進化は世界をどう動かしていくか?どの技術が有望なのか?日経BP社の専門誌編集長30人がテクノロジーの未来を展望。

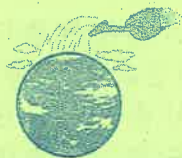
504

ニ

科学技術



環境展示



南荻窪図書館は環境に関する資料の重点収集館です。環境コーナーでは、毎月環境について考えるテーマで本を紹介しします。

未来につながる自然再生

自然環境と向き合うことは、私たち人間社会、そして、未来を創造することに繋がります。今回は水辺、特に河川を中心に、水循環や自然再生に関連する資料を集めました。「自然をよみがえらせるとはなにか」一緒に考えてみませんか？

『よみがえる川』

【編】日本河川・流域再生ネットワーク【刊】リバーフロント整備センター【ISBN】なし
本事例集は、日本および海外各地で実施された河川再生の事例を、ウェブサイトや書籍等の公開情報に基づき、再生に至る経緯、具体的な取り組み、また再生の現状や今後の展開などの視点で紹介している。

『川と人かかわりの物語』

【著】山本善稔【刊】風媒社【ISBN】9784833152112
川は、水系・流域の人々の暮らしと深く結びつき、いにしへの文化とも深く関わってきた。苦渋と豊穡をもたらした日本各地の河川の永い歴史をひととき、川と人のかかわりの大切さを説く。

ミニ展示



南荻窪図書館の出入り口自動ドア横にミニ展示コーナーがあります。毎月、季節や身近な社会の問題などに関するテーマで本を紹介しします。

老後とお金

人生百年時代と言われるようになりましたが、安心して過ごすためには健康面と経済面での安定が不可欠です。今回は、経済面での核となる年金制度を中心に、本を紹介しします。

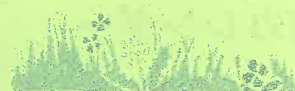
『定年後のお金と暮らし』

【著】週刊朝日MOOK【刊】朝日新聞出版【ISBN】9784022775245
60歳からの生き方を考えるためのガイドブック。老後生活を守る「ブレずにトクする5つの鉄則」を紹介するほか、退職金運用法から年金&保険、働き方・移住・介護・相続まで定年後の必須テーマを解説。終活最前線なども収録。

『普通の人々が老後まで安心して暮らすためのお金の話』

【著】佐藤治彦【刊】扶桑社【ISBN】9784594078973
ケチケチ節約は効果なし。老後の備えのためには何が必要か？経済評論家が、年収300万～700万円の人に向けて、資産運用から消費、年金、保険、教育費、住宅問題まで、正しいお金との付き合い方を教える。

南荻窪通信



南荻窪図書館のスタッフが【イベント報告】【図書館のはなし】【司書のひとりごと】などのテーマでお届けするコーナーです。

【イベント報告】

・映画会『駅馬車』

2月16日（土）に、映画会を開きました。上映したのは往年の名作『駅馬車』です。大勢のみなさまにCGのない時代の迫力のアクションを楽しんでいただきました。次回の映画会もお楽しみに！

・オリジナルかるたを作って遊ぼう！

2月23日（土）に、すぎなみKarutaプロジェクトの荻本和利さんを講師に招き、かるたのイベントを開催しました。参加者のみなさんが作ったオリジナルのかるたを使って、実際にゲームをしていただきました。個性的なかるたを前に苦戦したり、笑い合ったり、大人も子どもも一緒になって、とっても楽しそうでした。かるたのもとになった貝合わせの道具も見ることができ、充実したイベントになりました。



↑ かるた遊びの様子

【今月の請求記号】

今月の請求記号【723】は『洋画』を表す数字です。『芸術・美術』【700】の中の『絵画』【720】に含まれるジャンルで、画集だけでなく、画家のエピソードや豆知識なども含まれます。

今月のおすすめ本はこちら。

『レオナルド・ダ・ヴィンチの秘密』（コンスタンティーノ・ドラッツィオ）
多くの謎と神秘に包まれた稀代の天才、レオナルド・ダ・ヴィンチ。彼の残した謎めいた作品や手稿は、数多くの研究者を迷宮へと引きずり込み、今なお論争を呼び続けている――。

しかし本書ではそんなダ・ヴィンチを、謎めいた天才としてではなく、あくまでその時代に生きたひとりの人間として扱っています。パトロンのことなどをきかないやっかいものであり、多くの挫折を味わい、それでも称賛を呼んでやまない類稀なる才能の持ち主。思い通りにいかないと大事な仕事も途中で投げ出し、依頼されて描き始めた絵も、気に入ると依頼者に渡さず自分のものにしてしまう。そんなわがままで、けれど子どものような憎めないダ・ヴィンチという人物の生涯を、作品の口絵とともに追いかけてみませんか？



図書館カレンダー

2019年3月



日 月 火 水 木 金 土

					1 マヨネーズの日	2
★3 ひな祭り	4 雑誌の日 休館日	5 珊瑚の日	6 啓蒙 おはなし会	7 消防記念日	8	9
★10 東京大空襲の日	11 東日本大震災の日	12	13 おはなし会	14 ホワイトデー 数学の日	15	16 横館忌 (吉本隆明)
★17 マンガ週刊誌 の日	18 点字ブロック の日	19 アカデミー賞 設立記念日	20 あひちゃんえほん のじかん おはなし会	★21 春分	22 貝蔵忌 (新井南吉) 休館日	23
★24 檸檬忌 (尾花説次郎)	25 電気記念日	26	27 さくらの日 おはなし会	28	29 マリモ記念日	30
★31						

閉館時間 月～土：午前9時～午後8時 ★印のついている日は午後5時閉館です。

日・祝：午前9時～午後5時

3月のお知らせ

環境講演会



今、善福寺川がよみガエル！
～未来につなげる自然再生～

日時 | 2019年3月16日(土) 午後2時 ~ 午後4時

場所 | 南荻窪図書館 2F 多目的ホール

対象 | 小学生以上の方

定員 | 25名

申し込み | 3月1日(金)より、お電話かカウンターでお申し込みください

